

大通達甲（警務）第28号  
大通達甲（会計）第9号  
令和3年7月2日

簿冊名	例規（1年）
保存期間	1年

本部各課・所・隊長  
警察学校長 殿  
各警察署長

警務部長

第5期大分県地球温暖化対策実行計画の目標達成及び経費節減に向けた具体的取組「減CO<sub>2</sub>（ゲンコツ）プロジェクト2021」の推進について（通達）

県警察においては、第4期大分県地球温暖化対策実行計画に基づき「第4期大分県地球温暖化対策実行計画の目標達成及び経費節減に向けた具体的取組「減CO<sub>2</sub>（ゲンコツ）プロジェクト2016」の推進について」（平成28年5月2日付け大通達甲（警務）第6号、（会計）第5号）により、温室効果ガスの排出削減に資する取組等を推進してきたところであるが、この度、県が令和2年3月に表明した「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を見据えた計画として第5期大分県地球温暖化対策実行計画が策定され、県全体として、県民の模範となるよう更なる地球温暖化対策を推進することとされた。

新たに設定された削減目標の達成及び経費節減に向けた具体的取組については下記のとおりであるので、所属職員に周知徹底を図り、職員一人一人の主体的な取組を推進されたい。

なお、前記通達は、廃止する。

#### 記

#### 1 取組期間

令和3年度から令和7年度まで

#### 2 削減取組項目

##### (1) 重点削減取組項目

コピー用紙購入量

##### (2) その他の削減取組項目

ア 電気使用量

イ 庁舎冷暖房用等燃料使用量（都市ガス、LPG、A重油及び灯油の使用量をいう。以下同じ。）

ウ ガソリン使用量

エ 水使用量

オ 可燃ごみ排出量

#### 3 削減目標

##### (1) 取組期間の最終年度（令和7年度）における削減目標

令和元年度（庁舎冷暖房用等燃料使用量及びガソリン使用量にあつては、平成25年度）

を基準年度とした令和7年度及び各年度における削減目標は、次のとおりとする。

項目区分	削減取組項目	令和7年度削減目標	各年度削減目標
重点削減取組項目	コピー用紙購入量	5%削減	前年度比1%削減
その他の削減取組項目	電気使用量	基準年度以下	基準年度以下
	庁舎冷暖房用等燃料使用量	28%削減	前年度比5.6%削減
	ガソリン使用量		
	水使用量	5%削減	前年度比1%削減
可燃ごみ排出量			

(2) 重点削減取組項目の所属別削減目標

別紙1のとおり

4 具体的取組内容

別紙2のとおり

5 推進責任者

(1) 各所属に減CO<sub>2</sub>（ゲンコツ）推進責任者（以下「推進責任者」という。）を置き、警察本部にあつては次席（次席に準ずる職を含む。）を、警察学校にあつては副校長を、警察署にあつては副署長をもって充てる。

(2) 推進責任者は、所属職員に対し具体的取組内容等を周知徹底するとともに、実績を定期的に確認し、目標達成に向けた積極的な取組の推進を図ること。

6 進行管理

(1) 実績報告

所属長（削減取組項目に係る経費の支払いを行う所属長に限る。）は、削減取組項目（コピー用紙購入量を除く。）の各項目の数量について、毎月の実績を翌月21日（当日が閉庁日の場合にあつては、翌開庁日）までに、大分県庁e-オフィスシステム端末の地球温暖化対策・グリーン購入報告システムにより報告すること。

(2) 取組の検証

ア 推進責任者は、各削減取組項目における毎月の実績を確認の上、必要に応じて取組内容等の検証を行うこと。

イ 各年度における削減目標値を達成していない所属に対しては、必要に応じて個別指導を実施する。

（警務課企画係）

（会計課予算係）

## コピー用紙使用量の削減目標値

(枚)

		令和元年度 実績	令和7年度 目標
1	総務課	87,500	83,100
2	広報課	78,000	74,100
3	会計課	503,318	478,300
4	施設設備課	192,556	183,000
5	警務課	343,626	326,400
6	厚生課	40,500	38,500
7	監察課	120,000	114,000
8	留置管理課	103,000	97,800
9	情報管理課	100,000	95,000
10	生活安全企画課	187,500	178,100
11	地域課	175,000	226,200
12	人身安全・少年課	200,000	190,000
13	保安課	75,000	71,200
14	サイバー犯罪対策課		
15	刑事企画課	25,000	23,700
16	捜査第一課	418,500	397,600
17	捜査第二課	109,000	103,500
18	組織犯罪対策課	102,500	97,400
19	鑑識課	325,750	309,500
20	科学捜査研究所		
21	交通企画課	152,500	144,900
22	交通指導課	221,000	209,900
23	交通規制課	143,500	136,300
24	運転免許課	429,000	407,500
25	交通機動隊		
26	高速隊	118,500	112,600
27	警備企画課	262,000	248,900
28	外事課		
29	警備運用課	389,000	369,500
30	機動隊	115,000	109,200
31	警察学校	0	0
本部合計		5,017,250	4,826,200

		令和元年度 実績	H30～R2年度 平均実績	令和7年度 目標
1	大分中央警察署	2,030,000	2,275,333	1,953,400
2	大分東警察署	730,000	929,833	786,500
3	大分南警察署	900,000	1,074,167	911,600
4	別府警察署	1,615,250	1,609,083	1,395,600
5	杵築日出警察署	177,500	254,000	220,300
6	国東警察署	326,375	317,958	275,800
7	豊後高田警察署	236,000	257,667	223,500
8	宇佐警察署	452,500	595,167	516,200
9	中津警察署	822,500	912,083	791,100
10	玖珠警察署	176,000	219,667	190,500
11	日田警察署	764,000	775,667	672,700
12	竹田警察署	254,500	252,333	218,900
13	豊後大野警察署	337,000	372,708	323,300
14	佐伯警察署	596,250	650,000	563,800
15	臼杵津久見警察署	515,000	384,167	333,200
署合計		9,932,875	10,879,833	9,376,400
合計		14,950,125	5%削減⇒	14,202,600

※警察本部の目標値は、令和元年度実績に基づき組織改編後の実績から比例配分により算出

※警察署の目標値は、過去3年間の購入実績から算出

## 具体的取組内容

### 1 重点削減取組項目

#### ● コピー用紙購入量

取組内容
○ ミスコピーの削減 印刷前の印刷プレビューによる印刷部分の確認を徹底する。
○ 両面印刷の徹底 ・原則、両面印刷により文書・資料を作成する(両面印刷に適した余白設定等による文書作成)。
○ 2in1印刷の徹底 参考資料とする文書等は、両面印刷・2in1印刷を活用し、用紙1枚に裏表4面の印刷をする。
○ 文書発出時の確認の徹底 ・文書番号等の誤りによる差し替えをなくすため、文書発出時の確認を徹底する。 ・文書の発出先を真に必要な所属に限定し、不要な送付を控える。
○ 裏紙の再利用(※機密情報等に注意し、公文書(資料を含む。)には使用しない。) ・ミスコピー用紙又は表面使用済みの用紙は、回収してその裏面を可能な限り再利用する。 ・裏紙使用箱を設置する。
○ 会議資料の簡素化及びペーパーレス化 ・会議資料は、その必要性を十分検討し、原則1ペーパーとする。 ・会議へのパソコン活用による資料の電子化を図る。
○ ネットワークシステムの活用 ・文書の電子供覧を積極的に活用する。 ・事務連絡等の職員への周知は、スターオフィスのメール、掲示板、キャビネット等を活用する。

#### 【目標】

令和元年度を基準年度とし、令和7年度までに5%削減！

### 2 その他の削減取組項目

#### ● 電気使用量

取組内容
○ 離席時等のパソコン等電源切断の徹底 長時間の離席時には、パソコン及び周辺機器の電源切断を徹底する。
○ 消灯の徹底 始業時間前・時間外勤務時の部分消灯、昼休みの全部消灯及び不要な照明の消灯を徹底する。
○ 退庁時のエコタップオフの徹底 エコタップの利用による待機電力遮断を徹底する。
○ 最終退庁者による電源確認の徹底 最終退庁者は、プリンター、コピー機等の電源切断を徹底する。
○ 省エネ型照明の導入 LED電球等の省エネ型照明の導入を検討する。

- 電気製品の設置見直し  
 コーヒーメーカー、電気ポット、電子レンジ等は、利用実態や配置の必要性を検討し、**共用**又は廃止を行う。
- **移動時の階段利用の推進**
- **定時消灯日の取組推進(県庁舎新館所属のみ)**  
 毎月第2金曜日の定時消灯日には定時退庁を推進する。

● 庁舎冷暖房用等燃料使用量

取組内容
○ 冷暖房機器の管理の徹底 ・原則、執務時間内のみ運用し、適正な温度設定を行う。 ・パッケージ型のエアコンの使用は、全館冷房との併用を行わない。

● ガソリン使用量

取組内容
○ <b>エコドライブの推進</b> 不要な積載物の除去、タイヤ空気圧の調整、アイドリングストップ等を徹底する。

● 水使用量

取組内容
○ 洗面所、給湯室等での節水を徹底する。
○ <b>水漏れ点検を実施する。</b>

● 可燃ごみ排出量

取組内容
○ ごみの削減 ・コピー用紙の裏紙使用箱を設置し、廃棄枚数削減を徹底する。 ・マイバッグ、マイボトル、マイカップ、マイ箸等の利用に努める。
○ 再利用(リユース)と再生利用(リサイクル) ・ファイル、使用済み封筒等の再利用を徹底する。 ・ <b>紙ごみ等の資源ごみの分別</b> を徹底する。

【目標】

令和元年度(庁舎冷暖房用等燃料使用量及びガソリン使用量にあつては、平成25年度)を基準年度とし、令和7年度までに

◎電気使用量：基準年度以下

◎庁舎冷暖房用等燃料使用量、ガソリン使用量：28%削減

◎水使用量、可燃ごみ排出量：5%削減